
大人の麒麟

恭平

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のキリン

【Nコード】

N6048I

【作者名】

恭平

【あらすじ】

大人のキリンが子供のキリンに幸福とは何かを教えようとする。しかし、子供のキリンには何も分からない。

二頭のキリンが立っていた。
子供のキリンと大人のキリンである。
この両者は親子という関係である。

親のキリンは、子供のキリンに優しい声で呟く

「大人になつたらな。幸せの小鳥に出会うことになっているんだよ」
そこにちようど都合よく、鳥が現れる。

コドモきりんは、大人のキリンに向かって、尋ねる。

「あれが幸せの小鳥」

「あれは、幸せ小鳥のわけがないだろう。幸せの鳥は大人にしか見えなないんだから」

月日は流れ、子供ののキリンは青年に成長した。

そこに二匹の小鳥が木に止まっている。

青年になったキリンは、親であるキリンに質問する。

「父さん、あれが幸せの小鳥なのか？」

大人のキリンはため息を吐いて、呟く

「君はまだまだ子供だ。そんなことに、未だに拘っていること自体が子供なんだ」

大人のキリンは気に体当たりして、微笑みながらつぶやく

「もしも鳥を見て、幸福になれるなら、幸福の小鳥だと、思うかい？
いいや、違うね。鳥小鳥しよせん小鳥、木に体当たりをしたら、すぐ逃げてしまうだろ？だから、そんなものは幸福でも何でもない。
瞬間的な快樂だよ。もしも小鳥で幸せになりたいなら、小鳥を捕まえて、飼えばいい、君のような子には癒しが必要だからね」
青年のキリンはただ呆然として立ちつくすしかなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6048i/>

大人のキリン

2010年12月30日20時30分発行